

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 様々な教育活動において、保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1)地域の教育力を生かした特色ある教育活動

#### ① 図書館ボランティアによる取組

保護者・地域の皆様に、『図書館ボランティア』として登録していただき、管理・整備グループ、飾り付けグループ、読み聞かせグループの3つのグループに分かれて、子どもたちの読書活動の充実のために、取り組んでいただいています。

各学期の読書週間の取組、新刊や学習にかかわる本の展示等、子どもたちが図書に興味を持つような図書館環境づくりや読み聞かせ等を行っていただきました。



#### ② 「きらく会」との昔の遊び体験

地域の敬老会「きらく会」の方々に協力をいただき、こま・お手玉・けん玉・花いちもんめなどの昔の遊びを通じて、1年生の子どもたちと地域の方々が触れ合いました。

#### ③ 地域に学ぶ「富洲原探検隊（町たんけん）」

3年生は、社会科や総合的な学習の時間で、地域の町探険に出かけ、地域のお店や神社、漁港で直接お話を伺い、仕事に誇りを持って打ち込んでおられる様子を実際に感じることができました。地元の方々にお話を聞いたことをまとめたり、地域のでんぷら屋さんを題材にした授業に取り組みました。

#### ④ 地域の人材活用「和菓子づくり体験」

保護者で、地域の和菓子屋さんでもある和菓子職人さん達による、和菓子づくり体験を行いました。



#### ⑤ 地域の方による地域学習「地域の発展につくした人々」

4年生は、社会科「地域の発展につくした人々」の学習で、コミュニティスクールの委員の方から、「伊藤平治郎」さんについてや、「富洲原」という地名の由来、富洲原地区に今も伝わる祭り、「四九の市」のことについてお話を聞きました。



#### ⑥ 地域の人材活用「英語落語」

6年生は、英語落語を通じて、世界の人たちとコミュニケーションをとる活動をされている方と触れ合うことで、国際交流の在り方に触れることができました。



#### ⑦ 地区消防分団・地区自主防災隊と連携した防災教育

4年生は、防災学習として、富洲原消防分団の方に来ていただき、地域のために活動されているみなさんの様子を学習しました。

また、地区防災隊との合同訓練では、毛布を使った簡易担架の作り方や非常食の炊き出し体験をしました。



#### ⑧ 地域の方によるゲストティーチャー「5年生理科」

地域在住の理科教育の専門家の先生に来ていただき、4・5・6年生において、理科専科と協働した授業をしていただきました。



#### ⑨ 地域の方によるゲストティーチャー「人権学習」

6年生は、地域の葬祭業を営む方を講師に招き、自身の経験に基づく職業差別や、迷信についてお話を伺う機会を持ちました。

### (2) 地域団体との連携 地域行事への積極的な参加

#### ① 地区見守り隊等による登下校の安全確保

保護者の旗当番、地区見守り隊、民生児童委員さんたちによる登下校の安全指導等、子どもたちの見守りや安全指導を行っていただきました。



## ② とみすはら大運動会

今年度で2回目となる、3地区合同の「とみすはら大運動会」を土曜活動に位置付けて、児童の地域行事参加を働きかけています。児童だけでなく、先生達も「先生バンド」として参加し、運動会を盛り上げました。



## (2) 富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)としての取り組み

今年度から、富洲原中学校が四日市版コミュニティスクールの指定を受けるにあたり、小中学校が連携してコミュニティスクールを運営する「富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)」として活動を始めました。

愛称の「三錨」は、富洲原の3地区を3つの錨で表し、それぞれの地区がしっかりと組んで、よりよい地域を築いていくことの象徴で、富洲原小学校と中学校の校章のモチーフでもあります。

富洲原中学校区コミュニティスクールを通じて、地域・家庭・小中学校が一体となった学校づくりに、さらに取り組んでいきます。



## ① 保・幼・小・中(中3)による音楽集会

本校全児童に加え、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児、そして富洲原中学校3年生の皆さんに来ていただいて「音楽集会」を行いました。

それぞれの合唱の発表の後、先生バンドも参加して「世界がひとつになるまで」を全員で合唱し、会場全体が一つになった素晴らしい歌声が伝統ある本校講堂に響き渡り、コミュニティスクール委員のみなさんからも、富洲原ならではの素晴らしい取り組みだとのお声をいただきました。



## ② 学校創立記念式典

毎年40名近いご来賓の方をお招きし、6年生児童・職員・PTA役員が参加して「創立記念式典」を行っています。地域の学校に寄せる「願い」や、卒業生(三錨会会員)の「思い」が脈々と受け継がれている、富洲原小学校ならではの取り組みです。

## ③ 富洲原保育園・富洲原幼稚園との交流

富洲原保育園・幼稚園の年長組園児の皆さんに来ていただき、「1年生との遊び会」や、「給食試食会」を開きました。また、保・幼・小合同で、津波避難階段を使い、小学校の屋上に避難する「避難訓練」を行いました。





### (3) コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

今年度は、多くの地域の方にゲストティチャーとして来ていただき、理科や地域学習の充実を図ったり、地域の和菓子屋さんによる和菓子づくり体験をしたり、地域の敬老会「きらく会」の方々に昔の遊びを教えていただく等、地域の人材を活用した取組がより充実した1年となりました。地域との関わりを深め、地域とともにある学校という認識を深めることができた1年となりました。

また、「四日市版コミュニティスクール」委託の3年目、今年からは富洲原中学校区コミュニティスクールとして発足し、地域・家庭・小中学校が一体となった学校づくりを推進してきました。年間5回のコミュニティスクール運営協議会は、小中学校合同で開催し、運営協議会とあわせて、小・中学校それぞれの授業、創立記念式典、音楽集会等を参観していただきました。そして、その様子からも様々な角度からご意見をいただき、教育活動に反映することができました。

保護者の皆様や地域の方々に、子どもたちの様子を見ていただく機会が増えたことで、直接言葉をかけていただいたり、コミュニティスクール運営協議会の皆様からいただいた、子どもたちや学校の良さを教師から伝えたりする機会が増えました。そのことで、様々な方に認められているということを学校や子どもたち自身が実感でき、子どもたちの「地域に学び、地域を愛す」気持ちがさらに高まりました。

## 3 今後に向けて

今後も、四日市版コミュニティスクール推進に向けての取組を検討し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。

コミュニティスクール推進のために、保護者の皆様だけでなく地域の方々にも、様々な情報を適切に発信していく必要があります。今後も学校だより等の各種たよりの発行や、学校ホームページでの情報発信を通して、地域に積極的に情報発信をしていきます。そして、学校・地域・保護者・各校園がさらに連携を深め、「地域に学び、地域を愛し、地域の未来を創造する子ども」という目指す児童像に向かって、取り組んでいきたいと考えています。

## 平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 富洲原小学校

委員長 野村 幸廣

校長 石川 義常

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会	I 校長挨拶及び委嘱状手交 II 議事 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について 各担当より説明・承認
6	第2回運営協議会	I 授業参観 II 報告・協議 (1) 学校の現状について (2) 授業参観後の感想および意見交流・情報交換
7		
8		
9	第3回運営協議会	I 創立142周年記念式典臨席 II 報告・協議 (1) 教育活動前半の総括 ・全国学力学習状況調査及びNRTの結果に基づく自校の状況分析について ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (2) 創立142周年記念式典の感想等
10		
11	第4回運営協議会	I 音楽集会参観 II 報告・協議 (1) 音楽集会感想および意見交流・情報交換
12		
1		委員による学校参観（自由参観）
2	第5回運営協議会	I 授業参観 II 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		